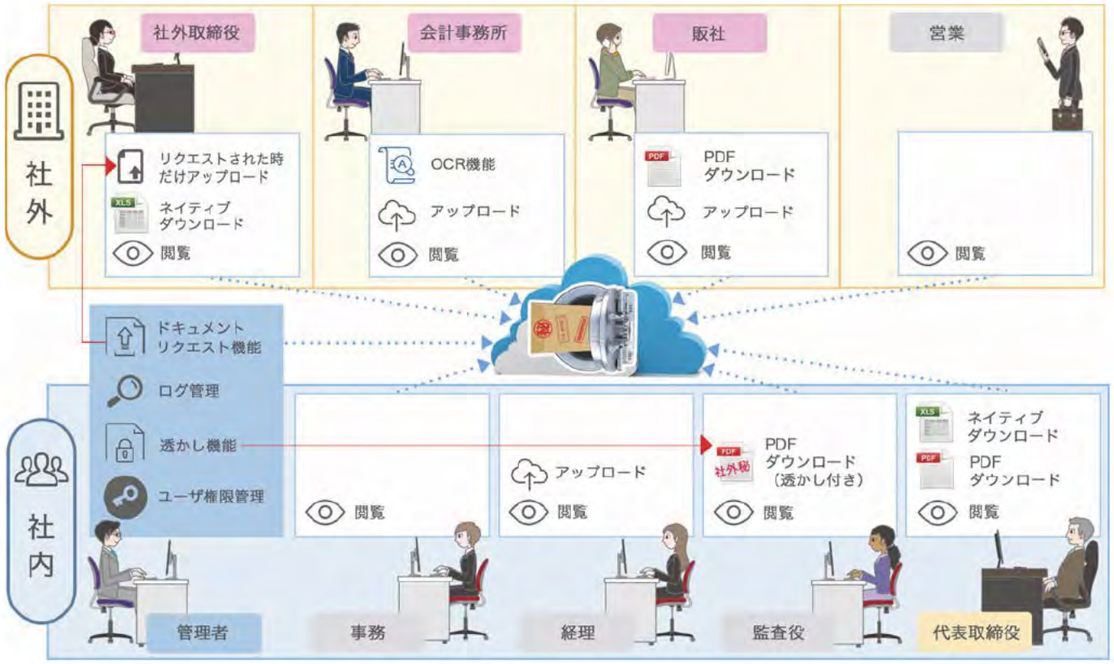
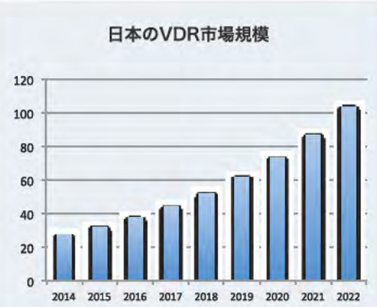
VDR（バーチャルデータルーム）とは

VDRとは、ウェブ上の領域に開設され、パスワードなどで認証された者しかアクセスできないデータルームのことです。バーチャルデータルームは、M&Aからデューデリジェンス、パートナーシップ交渉まで、重要な戦略的取引をクラウド上などで、関連当事者のみがアクセスできるようにセキュリティが確保されていることが重要です。

社内でも社外でも㊙データをクラウド上で安全に共有





日本のVDR市場規模は、Scalar Market Research Analysisによると、2022年には、100億円を超える市場に成長すると見込まれています。

社外取締役の就任数の増加

改正会社法が平成27年5月1日に施行され、企業のコーポレートガバナンス強化が求められています。社外取締役が選任する企業の比率も拡大し、業務執行者に対する監督強化と、業務の効率性・収益性の向上への取り組みが行われています。

各省庁のテレワーク推進

働き方改革を推進する政府は、2020年には全労働者数の10%以上が終日在宅勤務という目標を掲げています。総務省はテレワークの定着に取り組んでいますが、国家公務員の実施割合は3%強。システム環境面のセキュリティ強化と職員の意識向上が課題となっています。

デジタルトランスフォーメーション時代の㊙データ共有ツールVDR

AOSデータルームは、長年警察の証拠調査や、企業の情報漏えい調査の実績から、経済産業大臣賞を受賞したAOSの高い技術力で、メールのように簡単で、抵コストながらセキュリティに強い日本発のVDRとして開発されました。

お問い合わせ

AOS リーガルテック株式会社

VDR カンパニー

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-1-5 メトロシティ神谷町 4F

03-5733-5790（平日 9:00~18:00）　aosdr@aos.com

www.aos.com/dataroom

AOS

壁に耳、㊙データに

VDR AOSデータルーム

㊙データのやり取り どのように行われていますか？

デジタルトランスフォーメーション時代
マル秘データの共有や、やり取りは
どのように行われていますか？

日本の商習慣、企業文化として欠かせないものとして、㊙情報があります。デジタル時代においても、㊙データがあるでしょう。この㊙データの中に全てを左右する企業戦略や商品企画、会計情報などが全て含まれています。デジタルトランスフォーメーションが進んでいる日本企業において、㊙データの共有や、やり取りはどのように行われているでしょうか？過去は、機密文書に㊙マークを付けて扱ってきましたが、この㊙データを専門に扱うソフトウェアツールがVDR（バーチャルデータルーム）です。

日本の商習慣や日本の企業文化に基づいて開発されたVDR

AOSデータルームとは、日本の商習慣や日本の企業文化に基づいて、長い間、企業の顧問弁護士としてサポートしてきた、弁護士先生のアイディアによって開発された日本人に使い易い、日本生まれのVDR（バーチャルデータルーム）です。

メールのように簡単な操作画面

ドキュメントのアップロードもドラッグ&ドロップでつまんでフォルダに入れるだけ。導入したその日から、社内社外で、国内、国外で、メールのように簡単に㊙データの共有が可能です。

経産省推奨の国内サーバで安全

AOSデータルームのクラウド環境はAmazon AWSの日本サーバです。経済産業省も米政府や、EU規定に左右されることのない日本の国内データセンターの利用が安全であると推奨しています。

クラウド、オンプレ、柔軟に対応

クラウド型、オンプレミス型、プライベートクラウドなど柔軟にVDR環境を構築可能です。社内ポリシーにあわせてクラウド、社内サーバ、ご希望の環境でVDRサービスをご提供します。

従来の1/6の低コストVDR

AOSデータルームでは従来のVDRに比べ、６分の１の低コストでの導入が可能です。ミニマム１０ライセンスから小規模組織でも㊙データのセキュアな共有が実現できます。

㊙データのやり取り VDRの活用例

VDRはさまざな組織で㊙データのやり取りに活用されています。
ここでは業種ごとの活用例をご紹介します。

図面、設計データの共有
（建設、製造業）

社外パートナーや代理店とのデータ共有
（流通業、ベンダー）

特許、知財権の 情報共有
（ゲーム、コンテンツ業界、士業）

不正調査の証拠レポート
（捜査機関、企業管理部、弁護士）

裁判資料の共有
（企業法務、弁護士、士業）

テレワークや共同開発の内部データ共有
（企業、テレワーク）

M&A

社外取締役とのデータ共有
（企業）

投資家レポート
（金融、証券）

安全性文書の 配布
（医療、製薬）

共同研究、臨床実験モニタリング
（製薬）

監査報告
（法律、会計事務所）

M&A

M&A

コンプライアンスを守りながら、世界中どこからでもセキュアなクラウドベースで M&A をクローズ

- マルチランゲージ対応、使いやすく、低コスト
- ITの知識が無くても使える上、アクセス制限で漏洩を防止
- M&Aを効率化するための分析

社外取締役とのデータ共有

企業

社外取締役との重要なファイルのやりとりに機密性の高い、安全で効率の良い情報交換

- 社外役員と安全に機密情報が共有できる
- 緊急時に需要データと重要でないデータの仕分けができる
- 社外の人とコメントを共有できる

共同研究、臨床実験モニタリング

製薬

ファイルレベルでセキュリティを保護し、施設外からでも臨床実験コンテンツにアクセス

- 共同研究で個人情報も安全に扱える
- データの一括管理、効率の良い共同研究が実現
- アクセス情報が記録に残せる、規制対応

監査報告

法律、会計事務所

顧問弁護士、公認会計士、コンサルタント等と監査報告業務、規制対応に素早くデータ共有

- 通知機能で、誰が、いつ、どの文書を扱ったか把握
- コメント機能で監査業務処理のアドバイスを記録
- アクセス記録で監査が適切に行われていることを確認

テレワークや共同開発の内部データ共有

企業、テレワーク

プラグインを使わずアクセス権の付与、取り消し可能テレワーク、共同開発のデータ共有を速やかに

- 雇用形態に応じた権限管理
- アクセス履歴などのログを取得し、適切な業務管理
- 監査機能によりドキュメントの漏洩を防止

図面、設計データの共有

建設、製造業

建設、製造業などの図面や、設計データの外部共有に、漏えいリスクを回避

- 無数の下請けと設計データを1つのプラットフォームで管理
- 国籍を問わず、教育コスト無く、メール感覚での導入可能
- 国や企業間における知的財産の保護と漏洩リスクを回避